



代表として誓いの言葉を述べる藤原寿人さん

「飯南町二十歳のつどい」を来島交流センターで開催しました。今年度の対象者は平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた人です。式典には17人が出席。来賓祝辞、記念品受領の後、代表者が誓いの言葉を述べました。式典後には交流会も開催し、ゲームや恩師との再会で盛り上がりました。大学生の塚本真央さん（野萱出身）は「大学卒業後は、社会人として飯南町に貢献したいと思っています」と話していました。

20th
ふるさとに想いを馳せて
二十歳のつどい



交流会では笑顔があふれました



明るい前途を祝福し、記念撮影

8.15
木



来島地区の夜を彩る
みんなの広場夏祭り



焼きとり、焼きそばなどの飲食ブースにも多くの人

来島交流センター前の広場を会場に、「みんなの広場夏祭り」が開催されました。このイベントは今回が2回目の開催で、「みんなの広場夏祭り実行委員会」が企画。飲食のブースだけでなく、高校生有志による出店もあり、町内外からの300人を超える人が来場しました。会場にはステージが設置され、飯南牡丹組などのよさこいや、盆踊り、抽選会も行われ、にぎやかな時間となりました。



辺りが暗くなり、いい雰囲気の中で盆踊り



高校生のアドバイスを聞き、しっかりと狙いを定めて

8.10
土

30th
再会に笑顔あふれる
30歳の集い

今年度30歳（平成6年度生まれ）を迎える人が対象の「30歳の集い」が、やまなみを会場に開催されました。飯南町を離れて生活する人が多い中、ふるさとのことを考える機会を作ることを目的に、有志の実行委員会が企画。町内外から26人が出席し、近況や思い出話で盛り上がりました。参加者からは「成人式の時と違い、子育てや仕事の話が多くなって、大人になったなと笑い合いました」との声が聞かれました。



会場には楽しそうな笑い声が響きました

8.11
日

日本の原風景の棚田を登る
飯南ヒルクライム

美郷町から飯南町までの急勾配を駆け上がる自転車レース「飯南ヒルクライム2024」が開催されました。全長7.7キロメートル、高低差400メートルで、中国地方最大級のコースとなる今大会には、島根県内だけでなく、関西や四国など、県内外から131人が参加。30度を超える暑さの中、参加者は自らの限界に挑みました。参加者からは「今年も暑い中でしたが、完走できてよかったです」との声が聞かれました。



スタートから登り坂。ペダルを強く踏み込みます

8.18
日

町内小学生の交流と体験活動
夏休み特別企画「行こう三瓶へ」

国立三瓶青少年交流の家で、町内の公民館5館が共催するイベントが行われ、3年生以上の25人が参加しました。午前中には、参加した小学生同士の仲を深める目的で、人間関係づくりのプログラムを体験。午後には、交流の家周辺の森林に入り、ポイントごとに置かれたクイズに挑戦しました。自然の中で仲間と一緒に体を動かすことで、お互いのことや自然を学び、交流を深めました。参加者からは、「みんなで森に入ってクイズに答えるのが楽しかった」と話しました。



話し合いながらクイズの答えを考えます

8.20
火

姉妹都市「兵庫県伊丹市」と
青少年交流事業

飯南町姉妹都市協会主催の交流事業である「青少年交流事業」が、姉妹都市の兵庫県伊丹市で開催されました。参加者は、2日間で伊丹市昆虫館やラジオ放送局FMいたみを見学。FMいたみでは仕事も体験し、瑞ヶ池公園でのヨットセーリングでは、伊丹市の子どもたちと交流しました。今回の交流事業には、頓原小の児童6人と保護者5人が参加。夏休みの最後に良い思い出になりました。



「FMいたみ」の仕事体験は、実際に出演もしました

8.23
金
～24
土